

キャンプ砂防2024 in 立山

紹介はキャンプ砂防2020 in 立山
(2020年8月22～26日)の記録です。

立山砂防管内 位置図



立山カルデラ全景



キャンプ砂防in立山では砂防に対する意識、知識の向上をさらに図ってもらうと共に、厳しい自然環境の中での砂防事業の必要性を学んでもらうことを実施目標としています。
「キャンプ砂防2024in立山」は立山カルデラ内の砂防工事の体験をはじめとし、地域行政との意見交換会等も計画しています。

8月22日(月)

開講式

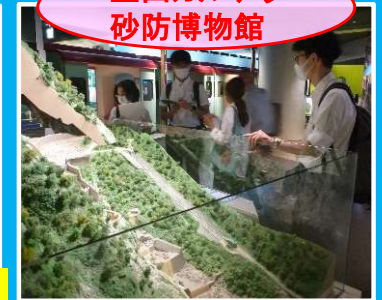


地域行政紹介



舟橋立山町長による説明

立山カルデラ砂防博物館



8月23日(火)

現場体験(立山カルデラ内)



ICT施工説明



白岩砂防堰堤 重要文化財

8月26日(金)

常願寺川流域視察



本宮砂防堰堤 重要文化財

閉講式



コンクリート打設現場



砂防施設視察

主な実施内容

キャンプ砂防2024 in 立山

紹介はキャンプ砂防2020in立山
(2020年8月22日～26日)の記録です。

■「カリキュラム」■

【キャンプ砂防in立山】

8月22日	9:30～10:00	集合・受付 カリキュラム等説明
(月)	10:00～10:20	オリエンテーション
	10:30～11:00	開講式 挨拶、自己紹介
	11:00～12:00	事務所紹介 砂防事業説明
	12:30～15:45	地域行政紹介 富山市役所(地域行政紹介) 立山町役場(地域行政紹介)
	15:45～16:30	立山カルデラ砂防博物館視察

【キャンプ砂防in立山】

8月23日	7:30	集合 乗車説明
(火)	7:55～9:40	立山砂防工事専用軌道 千寿ヶ原 → 水谷 (車中より沿川視察)
	10:00～12:00	立山カルデラ内視察 白岩砂防堰堤等
	13:00～16:00	砂防現場体験① ICT施工見学 砂防現場体験② コンクリート砂防堰堤施工見学
	16:00～	有峰林道 水谷 → 千寿ヶ原



立山カルデラ内視察の様子(六九谷山腹工、滝谷砂防堰堤)

【キャンプ砂防in黒部川】

8月24日	7:30	集合・移動 黒部 → 宇奈月
(水)	8:30～10:00	黒部峡谷鉄道 宇奈月 → 樺平 (車中より沿川視察)
	10:30～12:00	砂防現場体験③ 測量
	13:00～14:00	砂防現場体験③ ICT施工座学
	14:00～15:40	祖母谷周辺視察
	15:40～17:00	黒部峡谷鉄道 樺平 → 宇奈月 (車中より沿川視察)

【キャンプ砂防in黒部川】

8月25日	8:50～9:30	集合・移動 黒部 → 宇奈月ダム
(木)	9:30～11:00	総合土砂管理の説明、宇奈月ダム説明
	11:00～13:00	河道領域の総合土砂管理に関する説明 黒部川視察(宇奈月ダム～河口)
	14:00～15:00	海岸領域の総合土砂管理に関する説明 下新川海岸視察(越湖～園家)
	15:00～16:40	三次元データ等解説 黒部河川事務所

【キャンプ砂防in立山・黒部川】

8月26日	8:30	集合(立山砂防事務所)
(金)	8:30～11:00	報告書作成 成果とりまとめ (レポートチェック)
	11:00～11:30	報告会 レポート発表 意見交換会
	11:30～12:00	閉講式 修了証授与 所長挨拶
	13:00～	常願寺川中流域視察 富山駅解散

キャンプ砂防2024 in 立山

【テーマ】

江戸末期に起きた大地震から始まった歴史ある砂防の地「立山カルデラ」を実際に見て、体験し、砂防事業に対する理解を深める。

立山砂防事務所の砂防事業紹介

安政5年(1858)の大地震では大鷲山、小鷲山が大崩壊を起こし、その土砂が土石流となって一気に富山平野まで押し寄せ、激甚な被害をもたらしました。この災害等を契機に富山県により明治39年から砂防工事に着手、その後の頻発する洪水により多大な被害を受け続けたことから、富山県の要請により、大正15年より国の直轄事業として砂防事業を実施しています。それからまもなく100年が過ぎようとしており、国土保全施設としての歴史的価値を見出され、国の重要文化財に指定される堰堤も出ています。

砂防事業の推進により、常願寺川上流より流出する土砂の影響に起因する流域内、下流域の土砂・洪水氾濫から国民のいのち・くらしを守ります。



重要交通網が発達し、市街地化が進む富山平野

重要文化財 3堰堤



白岩砂防堰堤



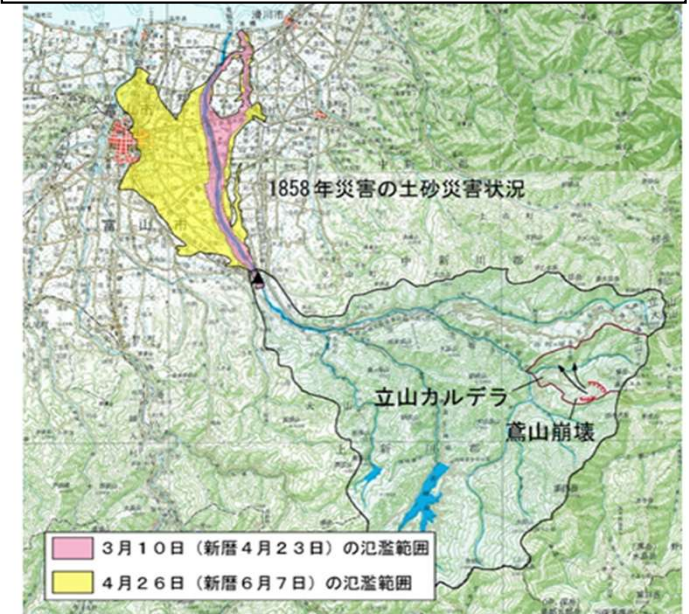
本宮砂防堰堤



泥谷砂防堰堤

安政5年(1858年)の土石流氾濫状況

安政5年(1858年)に発生した飛越地震により、立山カルデラ内で「鷲崩れ」と呼ばれる大崩壊が発生し天然ダムを形成した。その後、2度にわたる天然ダム決壊により土石流が富山平野まで押し寄せ、大きな被害をもたらした。



令和5年度の主な整備箇所

湯川上流砂防堰堤群



真川上流砂防堰堤群



キャンプ砂防 in 黒部川

～地域観光・利用者を守り、流域の安心・安全に寄与して62年～

【テーマ】

全国でも有数のV字谷である“黒部峡谷”に触れ、目を見張る自然美やトロッコ電車から黒部川の清流を体感、露天風呂・足湯を見学。黒部川の奥地で行っている“砂防”を学び、地域との共存・発展、流域の安心・安全を学ぶ。

【黒部川流域の概要】

富山県に位置する黒部川流域は、富山県と長野県の県境の鷲羽岳を水源に3,000m級の山々が連なる北アルプスの立山連峰と後立山連峰の間に渓谷を刻み北流し、日本海に注ぐ一級河川です。



- 水 源：鷲羽岳（標高2,924m）
- 流域面積：682km²
(愛本上流域：484km²)
- 流路延長：85km(河口～水源)
- 関係市町：2市3町[富山県]
黒部市、富山市
入善町、朝日町、
立山町
- 流域内人口：約2千人
- 年降水量：約4,000mm

(仙人谷観測所 国土交通省
昭和29年[1944]～平成22年[2010])

【黒部川における砂防事業】

砂防事業を昭和36年度から開始し62年、幾度となく洪水氾濫や土石流による災害が発生していますが、地域の観光や流域の安心・安全のため事業を推進しています。



黒部川第4号砂防堰堤



祖母谷第2号下流砂防堰堤



小黒部谷第1号砂防堰堤

【流域の観光資源】

黒部峡谷の雄大な自然、宇奈月温泉や黒部温泉等の温泉施設、黒部峡谷鉄道のトロッコ電車などを求めて、国内外から年間約70万人(令和元年)の観光客が訪れています。



年間約33万人(令和元年)が
利用する黒部峡谷鉄道のトロッコ電車



観光客でにぎわう黒部峡谷鉄道終点
樺平駅周辺の河原展望台・足湯



黒部市宇奈月町
宇奈月温泉街